



## 2025年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年7月10日

上場会社名 株式会社 タカキュー

上場取引所 東

コード番号 8166 URL <https://online.taka-q.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 大森 尚昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 林 宏夫

TEL 03-5248-4100

四半期報告書提出予定日 2024年7月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年2月期第1四半期の業績(2024年3月1日～2024年5月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	2,655	9.6	201	44.3	228	45.0	1,710	
2024年2月期第1四半期	2,939	13.4	139		157		137	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	70.18	55.29
2024年2月期第1四半期	5.63	

(注)1. 2025年2月期第1四半期の四半期純利益の対前年同四半期増減率は1,000%を超えるため、「-」と記載しております。

(注)2. 2024年2月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期第1四半期	5,900	782	13.1	9.32
2024年2月期	5,610	1,915	34.1	78.62

(参考)自己資本 2025年2月期第1四半期 772百万円 2024年2月期 1,915百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		0.00	0.00
2025年2月期					
2025年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

上記の「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご参照ください。

### 3. 2025年2月期の業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	2.3	50		230	338.9	1,700		69.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

通期の1株当たり当期純利益は、直近の業績予想の公表後、2024年5月23日にA種種類株式及びB種種類株式の発行に伴い、優先配当の配当年率を使用した配当金を当期純利益から控除し、算出しております。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期1Q	24,470,822 株	2024年2月期	24,470,822 株
期末自己株式数	2025年2月期1Q	105,776 株	2024年2月期	105,695 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期1Q	24,365,087 株	2024年2月期1Q	24,365,127 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種種類株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—	0.70	0.70

B種種類株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—	7.70	7.70

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
3. その他 .....	6
(1) 継続企業の前提に関する重要事象等について .....	6
(2) 商品別売上高 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、雇用環境が改善するなか、各種政策の効果に加えてインバウンド需要もあり、緩やかな回復傾向が見られました。一方で、2022年2月以来の不安定な国際情勢の長期化に伴う原材料価格・エネルギーコストの高騰、円安基調の継続による物価上昇等の影響により、先行きは不透明な状態が継続しています。

当アパレル・ファッション業界におきましては、景気の改善によって市場環境が回復しつつある一方、国内外の物価上昇が長期化していることや、円安による仕入原価上昇等の影響により、経営環境は引き続き厳しい状況で推移しました。

このような中、当社は、2024年3月28日付公表の事業再生計画を完遂することにより事業の再建を果たし、ステークホルダーの皆様のご期待に応えるよう、企業価値の向上に誠心誠意努めてまいります。

商品面では、オフィスカジュアルの浸透等、消費者ニーズの変化に対応した品揃えの充実を図り、日常生活やビジネスシーンを快適にする高機能商品「Happy Function」のアイテム群が好調に推移し、パンツ、ジャケット、シャツ等のカジュアル関連商品が大きく売上を伸ばしました。

また、新規商品の投入時期を従来よりも一層精緻にコントロールした結果、新規春夏商品の既存店売上高が前年を上回りました。

一方、ビジネス関連商品では、働き方の多様化により、既製品スーツとオーダースーツの伸び悩みにより既存店売上高が前年を下回った結果、当第1四半期累計期間の既存店売上高前年同期比は、4.0%減となりました。

営業面では、スタイルコーディネーターポイント制度の改善と、コーディネート販売優秀者による接客動画を配信することで、接客の向上に取り組みました。

販促面では、フェイスブック、インスタグラム、YouTube等のSNS広告の取組みを強化すると共に、Eコマースでは、生成AIを活用した接客型コンテンツの充実を図りました。

店舗面では、OMO実験店舗としてイオンモール草津店の全面改装を行いました。店舗数は当第1四半期会計期間末で前年同期比8店舗減の120店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は26億5千5百万円（前年同期比9.6%減）となりました。利益面では、コストコントロールの徹底及び店舗数の減少により、販売費及び一般管理費が前年同期に対して14.6%減少し、営業利益は2億1百万円、（前年同期は1億3千9百万円）、経常利益は2億2千8百万円（同1億5千7百万円）の増益となりました。更に金融支援による債務免除益14億9千9百万円を計上し、四半期純利益は17億1千万円（同1億3千7百万円）となりました。

なお、当社は衣料品販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

資産の部は、前事業年度末に対して2億8千9百万円増加し、59億円となりました。主な要因は、流動資産で現金及び預金が1億4千8百万円、売掛金が1千6百万円、商品が1億3千8百万円、貯蔵品が2千8百万円、固定資産で有形固定資産が1千7百万円それぞれ増加し、無形固定資産が1千5百万円、投資その他の資産で敷金が9百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に対して24億8百万円減少し、51億1千7百万円となりました。主な要因は、流動負債で資産除去債務が1千4百万円、固定負債で長期借入金が6億5千9百万円それぞれ増加し、流動負債で短期借入金が26億5千9百万円、リース債務が1千2百万円、未払金が4千7百万円、未払法人税等が5千5百万円、変動報酬引当金が4千5百万円、その他に含まれる販売予約預かり金が2千7百万円、固定負債で繰延税金負債が1千1百万円、資産除去債務が9百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に対して26億9千8百万円増加し、7億8千2百万円となりました。主な要因は、株主資本で利益剰余金が51億7千8百万円、新株予約権で9百万円それぞれ増加し、株主資本で資本剰余金が24億6千8百万円、評価・換算差額等でその他有価証券評価差額金が2千1百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の通期の業績予想については、2024年4月10日の「2024年2月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました業績予想から、売上高・利益とも変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,130,438	1,278,888
売掛金	598,632	615,088
商品	1,291,650	1,430,362
貯蔵品	140,901	169,236
その他	161,040	159,224
流動資産合計	3,322,662	3,652,800
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	116,683	130,989
機械及び装置（純額）	3,466	3,329
器具及び備品（純額）	20,411	24,825
リース資産（純額）	3,449	2,587
その他（純額）	0	180
有形固定資産合計	144,011	161,912
無形固定資産	281,049	265,499
投資その他の資産		
投資有価証券	—	602,547
関係会社株式	635,992	0
差入保証金	36,404	36,404
敷金	1,186,212	1,177,071
その他	4,462	4,212
投資その他の資産合計	1,863,071	1,820,235
固定資産合計	2,288,131	2,247,648
資産合計	5,610,794	5,900,448

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2024年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	338,223	380,303
電子記録債務	1,323,022	1,085,836
短期借入金	2,994,950	335,446
リース債務	40,527	28,425
未払金	339,092	291,818
未払法人税等	74,015	18,127
資産除去債務	17,400	32,042
ポイント引当金	99,480	96,722
変動報酬引当金	45,312	—
その他	200,371	156,886
流動負債合計	5,472,396	2,425,607
固定負債		
長期借入金	996,400	1,655,906
繰延税金負債	188,542	176,696
関係会社事業損失引当金	60,840	60,840
資産除去債務	708,950	699,126
その他	99,324	99,324
固定負債合計	2,054,058	2,691,893
負債合計	7,526,455	5,117,501
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,468,485	—
利益剰余金	△4,781,732	397,263
自己株式	△26,505	△26,514
株主資本合計	△2,239,753	470,749
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	324,092	302,216
評価・換算差額等合計	324,092	302,216
新株予約権	—	9,982
純資産合計	△1,915,660	782,947
負債純資産合計	5,610,794	5,900,448

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上高	2,939,355	2,655,927
売上原価	1,100,914	1,003,291
売上総利益	1,838,441	1,652,635
販売費及び一般管理費	1,698,568	1,450,755
営業利益	139,872	201,879
営業外収益		
不動産賃貸料	70,461	74,758
手数料収入	23,513	20,957
その他	8,507	6,883
営業外収益合計	102,481	102,598
営業外費用		
支払利息	20,536	19,761
不動産賃貸費用	52,106	47,859
その他	12,259	8,476
営業外費用合計	84,901	76,097
経常利益	157,451	228,380
特別利益		
債務免除益	—	1,499,999
特別利益合計	—	1,499,999
特別損失		
減損損失	1,768	—
特別損失合計	1,768	—
税引前四半期純利益	155,683	1,728,380
法人税、住民税及び事業税	18,715	18,127
法人税等調整額	△94	△277
法人税等合計	18,620	17,849
四半期純利益	137,062	1,710,530



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 2024年3月25日開催の臨時株主総会にてA種種類株式及びB種種類株式の発行が決議され、2024年5月23日に第三者割当の方法により発行しております。当該種類株式の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ499,990千円増加しております。

(2) 2024年1月25日開催の取締役会決議により、会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、2024年5月23日を効力発生日として、A種種類株式第三者割当及びB種種類株式第三者割当後の資本金を499,990千円、資本準備金を499,990千円減少させ、その金額をその他資本剰余金に振り替えております。

(3) 2024年5月30日開催の定時株主総会にて会社法第448条第1項の規定に基づき、利益準備金の全額500,000千円を取り崩し、繰越利益剰余金へ振り替えております。

また、2024年3月25日開催の臨時株主総会にて承認されました、第三者割当によるA種種類株式、B種種類株式及び新株予約権発行の件、及び2024年1月25日開催の取締役会にて決議しました資本金及び資本準備金の額の減少の効力の発生を条件として、会社法第452条の規定に基づき、当該減少により増加した後のその他資本剰余金の全額3,468,465千円を繰越利益剰余金に振り替えております。

3. その他

(1) 継続企業の前題に関する重要事象等について

当社は、2019年2月期から2024年2月期において継続して営業損失を計上し、2022年2月期には債務超過となり2024年2月期時点で依然として債務超過の状態が継続しておりました。これらの状況を踏まえて、事業構造改革の実施により事業面での安定化を図り持続的な収支の改善を図るとともに、財務面での安定化を目的とした様々な資本増強に向けた各種施策を検討・推進してまいりました。

当第1四半期では、資本政策を推進し、2024年5月23日付「第三者割当によるA種種類株式及びB種種類株式の発行、第三者割当による第1回新株予約権の発行の払込完了、資本金及び資本準備金の額の減少に関するお知らせ」に記載のとおり、第三者割当による増資等と取引金融機関等による債権放棄等が実行され、同四半期末時点における純資産額は7億8千2百万円となり、債務超過を解消いたしました。

しかしながら、前事業年度まで継続して営業損失を計上していることを鑑み、引き続き継続企業の前題に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が継続して存在しているものと認識しております。

当社は、2024年3月28日公表の事業再生計画を着実に実行し、当該事象の解消に向けて取り組んでまいります。なお、前事業年度まで継続的に取り組んだ事業構造改革の成果もあり、業績状況は着実に改善し、当第1四半期累計期間において営業利益は2億1百万円を計上しております。

以上により、継続企業の前題に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

(2) 商品別売上高

	前第1四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)		当第1四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)		前事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
重衣料	1,368,481	46.6	1,261,505	47.5	4,401,892	43.9
中衣料	57,036	1.9	47,935	1.8	446,270	4.5
軽衣料	1,422,606	48.4	1,261,071	47.5	4,805,846	47.9
その他衣料等	91,230	3.1	85,414	3.2	372,665	3.7
合計	2,939,355	100.0	2,655,927	100.0	10,026,675	100.0

(注) 1. その他衣料等はスカート、ワンピースのほか、クレジットカード会員獲得に伴う手数料収入、衣料品の修理・加工に伴う収入等であります。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。